

令和8年 4月 13日
国立大学法人筑波大学
学 生 部 ・ 施 設 部

学生宿舍リニューアル事業(仮称)サウンディング型市場調査(結果概要)

1. 調査の目的

本学では、社会の課題を解決し未来を創り出す人材を育成するため、学住近接にある学生宿舍を活かし、先端的な教育研究の実践と学生文化の発信の場として、学生宿舍(約 3800 戸)のリニューアルを計画しております。

事業にあたり、PPP/PFI事業の導入可能性調査及び基本計画(案)の見直し、実施方針策定等を目的としたサウンディング型市場調査を行いました。

2. 実施方法

① アンケート調査

民間事業者(総合建設業等、金融機関等、学生寮運営、不動産業者等)に対して、アンケートを実施しました。

② 個別ヒアリング調査

アンケート調査後、協力意欲のある民間事業者に個別ヒアリングを実施しました。

3. 調査期間

① アンケート調査 2025年6月～2025年7月

② 個別ヒアリング調査 2025年7月～2025年9月

4. 調査結果

・参加事業者数

① アンケート調査 30者

② 個別ヒアリング調査 17者

・結果概要

調査内容	参加事業者からの御意見
事業内容について	<ul style="list-style-type: none">・事業内容に関心があるという意見がありました。・学生の学びの場として高く評価しているという意見がありました。・大規模な事業のため、参画が難しいとの意見がありました。
事業スケジュールについて	<ul style="list-style-type: none">・近年の人手不足や資機材の調達難、働き方改革等の影響により、想定工期では不足する可能性があるとの意見がありました。・整備する戸数を拡大することで建設コストの抑制が期待されるとの意見がありました。・短期かつ大規模な発注では、事業者の参画が難しいとの意見がありました。
建設・運営コストについて	<ul style="list-style-type: none">・物価高騰、金利上昇の影響があり、実情を踏まえた計画としてほしいとの意見がありました。・物価高騰、金利上昇の観点から、PFI期間の設定について長期間とすることに難色を示される意見がありました。

5. 今後の予定

サウンディング調査後の急激な金利上昇を受けて、当初想定していた事業の実施が難しい状況となっていることから、事業内容の見直しを行うこととします。

学生宿舍リニューアル事業(仮称)サウンディング型市場調査にご協力いただいた民間事業者様に御礼申し上げます。